



岐阜市民病院副院長  
小児科  
**鷹尾 明氏**  
(たかお あきら)

昭和50年岐阜大学医学部卒。  
岐阜市民病院、国立小児病院、岐阜県立下  
呂温泉病院を経て平成16年より岐阜市民病  
院副院長に就任。  
500-8513 岐阜市鹿島町 7-1  
Tel:058-251-1101  
Fax:058-252-1335  
http://www.city.gifu.lg.jp/c/  
11020033/11020033.html

### 小児科医を悩ませる理由

嘔吐する疾患は多種多様で診断にも苦慮  
します。患者さんへの説明も「お薬を飲ま  
せて様子を見て下さい」とは言えません。  
なぜなら薬を飲ませていただいても吐いて  
しまうことが予見されるからです。必然的  
に非経口的処置、つまり注射をすることに  
なりますが聞き分けのない子供に説明し、  
保護者に同意を求めることに苦労すること  
も時にあります。小さな手や足に細い静脈  
血管、みえればまだ良いのですが、ふくよ  
かな体型で乳幼児特有の皮下脂肪に覆われ  
た血管はその存在すら疑わせる状況もしば  
しばで、無事に処置が終わったときの達成  
感はいくつもの小児科医が喜びに浸れる瞬間か  
もしれません。

こんなささやかな喜びを求めて小児科医  
が日々診療していること  
も理解していただければ  
幸いです。



# こんなとき どうしたら・・・？ Dr. からのアドバイス



## 小児科医を悩ませる症状—嘔吐

赤ん坊が母乳をしっかりと飲んで後に大量に吐いたとか、3~4歳児が食べた後走り回って  
いて吐いたとか、小学校で先生に叱られ吐いたとか心配になったこと、ありませんか。

## 子供がよく吐きます。大丈夫でしょうか？

**多**くの場合には心配することのないこ  
とがほとんどなのですが、時に次の  
ような疾患があります。だからこそ小児科  
医を悩ませるのです。吐くことを医学用語  
では嘔吐と呼んでいます。この症状には  
年齢特異性と随伴症状が大きく関わっていま  
す。またその治療や緊急度も大きく異なっ  
ています。

**Q** 年齢による病気の違い  
はありますか。

**A** 《生まれてすぐの赤ちゃん》であれば  
先天性の食道や胃、腸の閉塞であるかも知  
れません。また発熱を伴ってれば脳・脊  
髄の感染症かも知れませんが、けいれんを  
伴ってれば脳出血であることもあります。

《生後3~4週児》であればまず当該筋肉  
が肥厚する先天性肥厚性幽門狭窄症でし  
ょう。

《1~3カ月児》は比較的安定しています  
が発熱がなくても不穏状態であれば脳・脊  
髄の感染症を考えます。

《6カ月~2歳児》ではまず腸重積症を否  
定すべきでしょう。  
おなかを痛がるようにして突然吐く、  
血便が出たということなら小児科医によ  
る早急な高圧注腸整復（手術ではありません  
せん）が必要でしょうし、成功しなければ  
ば外科医による開腹手術が必要となりま  
す。この成否はある程度は診断までの時  
間に関係しているかも知れません。急性  
胃腸炎は下痢がはじまる前に吐くことも  
まれではありません。下痢便が次第に白  
色に変わってきた場合には、嘔吐は軽快  
してもその後の下痢が激しくなり脱水状  
態に陥るかも知れません。脳・脊髄の感  
染症もこの時期に多くみられます。

《3~6歳児》の急性虫垂炎は、一般的に  
腹痛を訴えればまず思いつく疾患ですが、  
私たちには最も診断が難しいものの一つ  
で、小生が医学部を卒業する直前の外科  
学の最終講義で著名な教授が10分間にわ  
たって朗々と講義されたことを現在でも  
鮮明に記憶しているほどです。アセトン  
血性嘔吐症は自家中毒症ともいわれ、そ  
の成因は未だ明らかではありませんが、  
楽しい行事が予定されている早朝や昨夜  
の家庭内不和が誘因となることもあるよ  
うです。

《6歳以上児》では時に悪性のガンが腹部  
にできていたり、脳腫瘍ができていたり  
して嘔吐することもあります。

こ  
ん  
な  
と  
き  
ど  
う  
し  
た  
ら  
…  
？